



笑顔あふれる学校！

中央小だより

令和6年9月号

児童数 397名

学級数 19学級



2学期が スタートしました！

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校にもどってきました。今年の夏は、例年以上に暑い日が続きました。また、大きな地震が続いて起きたり、2学期開始直前に台風による大雨が続いたりするなど、熱中症対策だけでなく、自然災害に対する安全確保にも心配な日々を過ごされたことと思います。

そのような中、2学期の始業式が1日遅くなりましたが、大きな事故もなく、子どもたちが今日の始業式の日を迎えてくれたことを何よりもうれしく思っております。それも、保護者の皆様や地域の皆様のご支援と見守りのおかげであると、感謝申し上げます。

各ご家庭におかれましては、休み中のお子さまの様子についてのアンケートやお電話等でのご対応をいただきまして、ありがとうございました。また、地域の皆様におかれましては、夏の寺子屋や中央学区夏祭り等において、子どもたちの学びや楽しみにつながる貴重な場をいただきまして、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

また今年は、パリオリンピック・パラリンピックにおいて、アスリートのみならずからたくさんの感動や勇気をもらう夏でもありました。どの競技においても、最後まであきらめずに力を尽くすその姿に、胸が熱くなったのは私だけではないと思います。メダルが取れた喜びと達成感、メダルが取れなかった悔しさや苦しさ。選手たちの思いは様々ではありますが、どの選手にも共通している点は、それぞれの思いのその奥には、誰もが知らないところでの「努力の日々」があることです。

近代オリンピックの父と呼ばれる、オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、「人生にとって大切なことは、成功することではなく努力すること」という言葉を残しています。競技を終えた選手たちが輝いて見えるのは、そこにたどり着くまでの過程において、並々ならぬ努力を重ねてきたからだと思います。“がんばった自分”が必ずいるのだと思います。

勝利を収めるなどの成功体験は、子どもの成長において大切なことですが、それまでの過程の段階におけるたくさんの努力や失敗、そして悔しさが、子どもをさらに強く大きくするのではないかと思います。

2学期は一年で一番長い学期です。普段の学習活動に加え、運動会や校外学習などの

大きな行事も予定しています。それぞれの学習の取り組みを通して、子どもたち一人一人が自分の目標に向かって努力する姿が見られる2学期にしていきたいと思います。オリンピック・パラリンピックの選手たちから学んだ「結果ではなく努力すること」を大事にして、どの子も“がんばった自分”をたくさん感じながら自己肯定感を高めていてほしいと願っています。

2学期も、子どもたちの笑顔があふれる毎日となるよう、職員一同尽力してまいります。今学期もご理解とご支援、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

校長 森 千代子

7月・8月の様子



『夏の寺子屋』 7月22・23・24日

中央学区社会福祉協議会、青少年育成学区民会議、民生・児童委員のみなさんが、夏の寺子屋を3日間開いてくださいました。今年度は120人を超える参加申し込みがありました。2日間はお昼ご飯もいただきました。3日目は、永順寺の本堂でご住職から『永順寺と2つの戦争』というテーマの貴重なお話を聞かせていただきました。子どもたちにとって大変有意義な3日間を過ごさせていただきました。中央学区社会福祉協議会、青少年育成学区民会議、民生・児童委員のみなさま、ボランティアの学生のみなさま、大変お世話になりました。ありがとうございました。



『夏祭り』 8月4日

ゲームコーナーや、焼きそば、たこ焼きなどのお店がたくさん並びました。子どもたちにとって、楽しい思い出の一日となりました。地域の皆様、ありがとうございました。

『大津っ子未来会議』 8月1日

『みんなの笑顔が輝く学校～私たちができること～』をテーマに、各校の取り組みの発表や交流、グループ別協議などが行われました。本校からも代表児童2名が参加し、いじめをおこさないために日頃から取り組んでいる活動について発表してくれました。他校との交流や協議においても、活発に発言する姿が見られ、有意義な話し合いになりました。



※子どもたちの学習活動の様子など、本校ホームページで随時紹介しています。

＜中央小学校 H.P＞ <http://www.otsu.ed.jp/tyouu/> をぜひご覧ください。